

NPO法人 増毛山道の会

増毛山道の歴史の掘り起しと維持管理に関する活動を実施

活動分類

■教育・子育て

活動背景・目的

増毛山道を通じて、社会教育の推進、まちづくりの推進、スポーツ振興及び環境保全を目的として活動する。

増毛山道は、今から約170年前に伊達林右衛門が私財を投じて開鑿、増毛と浜益を結び、当時は交易や北方警備として使われていましたが、時代の流れと共に忘れ去られていました。その山道の復元に向けて平成20年に任意団体として発足し、平成22年5月13日にNPO法人を取得し17年余の期間、活動を継続しています。平成30年度には、国土交通省より「手づくり郷土賞」一般部門認定されております。

代表者：渡邊 千秋

連絡先：(事務局、小杉測量設計(株)内)

〒077-0046 留萌市港町3丁目60番地1

TEL: 0164-56-0003 FAX: 0164-56-0003

メール：oldis21@kosugi-sp.jp

ホームページ：<http://www.kosugi-sp.jp/sando/top.html>

活動地区：増毛町・石狩市

活動内容

【増毛山道の整備】

○平成21年5月に増毛町別荘側から始めた復元作業は、平成28年10月に石狩市浜益区幌までの全区間33kmが開通。以後維持管理上、全線の路ぶしんを会員が毎年行い、藪に埋もれるのを防ぎ利用者にガイドを継続中。

【増毛山道トレッキング】

○復元後は初級者向けから上級者向けまでの各コースでトレッキングを実施。また、深い山中にある歴史コースなので、遭難防止対策で一般開放せず、当会がガイドすることを原則として実施しています。

【出前授業】

○増毛中学校で歴史の出前授業と体験トレッキングを、平成24年より継続実施しています。

【パネル展の開催及び動画作成】

○増毛山道の歴史、環境、現状等を、パネル、航空写真、動画等で、令和4年、旧増毛小学校内に展示教室開設。また、令和6年には山道の歴史と会の活動を紹介する動画2編他を作成し、「YouTube」で公開しています。

【山岳コースとして紹介】

○令和6年、道内登山道の案内本「新夏山ガイド6」に、増毛山道を利用して登山する雄冬山(1198m)コースが紹介され、増毛町岩尾～雄冬山～石狩市幌の約17kmを楽しめる絶景コースが広報されました。



▲ルート概要図



▲復元された増毛山道



▲明治22年に設置された
電信線の電柱と増毛山道



▲増毛山道に遺された明治40年設置の
1等水準点をガイドする様子

今後の展望・課題など

- 主ルート別荘(増毛)～幌(石狩)28km、岩尾支線 5km、雄冬山(1,198m)登山道 0.5km と距離、標高、地形共に厳しい条件の山地にあります。増毛側道有林沿いの増毛山道には、留萌振興局の林道補修がトレや維持安全管理に必定です。
- 山道路ぶしんを6月～10月(8月は休止)の毎土曜日実施し、会員(主に札幌)や留萌開発建設部、留萌振興局、山岳団体、その他有志の支援頂き感謝です。毎年HPに日程と申込フォームを公表しており、森林浴を楽しみに是非参加を。
- NPOとして出発し、長大困難な増毛山道を復元したが、会員の高齢化を迎え、過疎地で次の世代へ受け継ぐ地元の若者の参加不足。会員の会費のみでは自立不可で、経済的基盤を模索しつつ維持管理を当面継続しております。